

# 京林大だより

No.60



絵：卒業生 熊走君

## 「卒業研究発表会」を開催しました

卒業研究は、2年生一人一人が林業大学校での講義や実習、キャップストーン研修等を通じて気付いた疑問や課題について調査・研究するもので、卒業前に取組の成果を発表しています。

今年は2月15日(火)にわち林業センターにおいて、共同研究を含めて14課題について発表しました。研究テーマは、「放置竹林の有効利用」や「地元特産品を使用した燻製商品の開発」「ICTを活用した地域振興策」「広葉樹の利用」「チェーンソーアート」など、バラエティに富んだものとなりました。内容としては、十分に検討されて充実した研究、学生ならではの面白い発想に基づく研究がある一方、明らかに時間が不足していたり、研究方法に工夫がほしいものもありましたが、学生たちにとっては、自分が選んだ一つのテーマに真剣に取り組み、自分の考えを整理・表現することを通じて、今後につながる貴重な経験ができたことと思います。



発表の様子



1年生からの質問



集合写真

第9期生、卒業しました。  
2年間大変お世話になり、  
ありがとうございました。

3月15日(火)、和知ふれあいセンターにおいて第9期生16名の卒業式が行われました。昨年に続き、コロナ禍により規模縮小を余儀なくされましたが、1年生や保護者が見守る中、晴れやかな気持ちで学校を巣立っていきました。

9期生は、入学早々の臨時休校やドイツ研修の中止など、コロナ禍に翻弄されましたが、地元の皆様や多くの林業事業者の皆様に見守られながら、同期入学者全員が無事に卒業できました。京都府内で就職する学生も多数おりますので、末永くよろしく願いいたします。



# インターンシップ

## （職業体験）

1年生（10期生）14名が、府内9つの森林組合でインターンシップ（職業体験）を行いました。

研修期間は、2月28日（月）から3月4日（金）までの5日間で、これまで講義や実習で学んできたことを試す良い機会となりました。

研修先では、学生の受入れにあたり、様々な作業ができるように検討していただいたり、毎日の作業について、御指導いただき、本当にありがとうございました。

今後学生たちが、このインターンシップでの経験を踏まえて2年生となり、さらなる実力をつけて就業できるよう、取り組んでいきます。



森林調査



間伐作業

## 今月の授業参観

### 『高性能林業機械操作士』6名合格!

高性能林業機械操作士は林業専攻の学生が取得可能な京都府独自の資格です。

ハーベスタ等の高性能林業機械の操作試験を受け、機械に関する筆記試験をし、その両方の試験点数が基準を超えた合格者に資格が与えられます。

今年度の試験合格者は以下の6名となりました。

飯島、今岡、大曲、大屋、三澤、山口

合格おめでとうございます。この難関な試験を見事突破した学生は林業技術者として、大いに活躍してほしいです。

### 『森林公共政策士』2名合格!

森林公共政策士は森林公共人材専攻の学生が取得可能な京都府独自の資格です。

森林・林業と併せて公共政策に関する知識・技術を身につけ、地域課題を解決するための方策を卒業研究として提案し、基準を超えた合格者に資格が与えられます。

今年度の試験合格者は以下の2名となりました。

中川、瑛本

合格おめでとうございます。就業してから様々な地域課題の解決にむけて活躍を期待しています。



## 校長室より

### 羽ばたけ9期生!

校長 森 敦司

最初に、皆様にお詫びを申し上げます。

前号の林大だよりで、本校ではコロナ感染者は発生しておりませんと御報告したところではございましたが、前号の発刊後、とうとうコロナ感染者が発生しました。林大も即日休校とし、感染者及び接触のあった者は1週間の自宅待機とするなど対応しました。幸い感染は広がることはございませんでした。

この間、皆様方には御迷惑と御心配をおかけして申し訳ございませんでした。この場をお借りしてお詫び申し上げます。

さて、いよいよ3月、卒業の季節です。

本校でも9期生16名が2年間の学校生活を終えて、3月15日に卒業式を迎えました。

16名中8名が他府県の出身者ですが、ありがたいことに13名が京都府内で就職してくれます。また、その内2名は、本校が所在する京丹波町内に就職します。

思い起こせば、この9期生はコロナに始まり、コロナに振り回された学年でありました。

入学と同時に緊急事態宣言のため2ヶ月の休校、ドイツ研修の中止、その他視察研修や学校行事の中止や縮小、極めつけは今年1月のコロナ感染による休校など、コロナの影響をまともに受けた学年でした。

通常とは違う不便な学校生活を送ることになり、林業の技術や知識の習得を心配しておりましたが、それでも1年が過ぎる頃には、生徒がみるみる成長していく姿が確認できたことに驚きました。どのような状況にあっても毎日の積み重ねというのは、いかに大切であり、人間をこんなにも成長させるものであると学生から教えられました。

3月15日、この16名は社会に旅立ちました。森林・林業の世界でしっかり羽ばたき、貢献してくれることと確信しております。関係者の皆様には引き続き御支援賜りますようお願い申し上げます。